

富士東高校 部活動の基本方針

1 スクール・ミッション

大学との連携・協働による探究学習の充実を図るカリキュラム研究を核とした、地域から信頼される文武両道の富士地区普通科高校として、社会的な課題に関心を持ち、自律的なキャリアデザインを描きながら自ら進んで学ぶ力を育む教育を通して、地域社会の発展を担い、リーダーとして活躍する人材の育成を目指す。

2 令和8年度設置部活動

【運動部】

陸上競技部、野球部、男子バレーボール部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、サッカー部、テニス部、卓球部、女子ハンドボール部、男子バドミントン部、柔道部、剣道部、体操部

【文化部】

吹奏楽部、芸術部（美術、写真）、英語部、新聞部、日本文化部（書道、華道、茶道）、パソコン部

3 部活動の活動方針

【目標】

「己ヲ磨キ他二尽クサン」という校訓の下、文武両道の精神に基づき、心身ともに調和が取れ自己管理能力に優れた生徒を育成する。

【意義】

他者との関わり合いの中で、規範意識を育てたり、国際化社会で活躍できる主体性や行動力を培ったりする場として、部活動が重要な役割を果たしていることを踏まえ、本校では全ての生徒が部活動に所属し、クラスや学年を越えた異年齢集団で、豊かな人間性を育む活動を行っている。各教科・科目等のみならず、部活動においても、探究的・課題解決的なプロセスを重視し、自ら学ぶ姿勢を養い、生徒が自己肯定感を高めたり、豊かな社会性を身に付けたりすることを期待している。

【活動目標】

- ・仲間や教員との関わりの中で、社会性や規範意識を育成する。
- ・知力・感性・社会性・体力等、バランスのとれた心身の成長を促す。
- ・大会やコンクールへの参加や日常的な活動を通して、目標に向かって努力する態度を培う。
- ・生涯に渡ってスポーツや芸術活動等に親しむことができるよう、基礎的な実践力を育成する。
- ・生徒や教員が、家族と過ごしたり自己を研鑽したりする時間を十分確保できるよう、部活動時間を効率化する。

【成果目標】

- ・生徒の部活動への満足度：80%以上

【経費】

部活動に係る経費は、自治会会計による支出を原則とする。その他、個人または団体より特別の経費の協力を得るときは、校長の承認を必要とし、収支報告をする。

※詳細は生徒指導内規、PTA等の規程による。

4 各部活動の休養日・活動時間

【休養日】

週2日以上の休養日を設定すること。

【活動時間】

1日の活動時間は、長くとも平日は1日2時間程度、休日は1日3時間程度とし、週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内とすること。その中で、できるだけ短時間で合理的かつ効率的・効果的な活動を行うこと。

【運用上の留意点】

ア 平日は、片付けを含め午後7時15分には完全下校とする。

イ 長期休業中やテスト期間、シーズンオン・オフ等の期間を活用し、生徒がまとまった休養が取れるように配慮する。

ウ 定期テスト1週間前から、部活動自粛期間とする。ただし、公式戦（準公式戦）を控える部については、テスト前部活動練習計画を事前に示し、練習する。その場合の活動時間は概ね1時間とする。

5 活動計画・活動実績簿等（各部で作成）

・年間活動計画…年度当初に、年間の大会や遠征等の計画と年度の目標を設定

・月間活動計画…前月の月末までに、各月の活動計画を設定

※年間活動計画、月間活動計画は、作成後、生徒・保護者に配布する。